

## 点検・評価の結果

政府統計コード	00500221
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査
調査の名称	特定作物統計調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他 (関税割当数量の算定等の基礎資料として利用)
特記事項	

# ① 調査計画との整合性確保等の観点

<p>調査計画との整合性 (整合している場合チェック)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>☐ 1.調査の目的</li><li>☐ 2.調査対象の範囲 ※</li><li>☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</li><li>☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</li><li>☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 }</li><li>☐ 6.報告を求める期間 ※</li><li>☐ 7.集計事項 ※</li><li>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 }</li><li>☐ 9.使用する統計基準</li><li>☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</li><li>☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ }</li></ul>	<p style="text-align: center;">全項目整合</p>
-------------------------------------	---	--

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 課題なし</li> <li>□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</li> <li>□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</li> </ul>
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の類型) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	<p>【対応の概要】</p> <p>効率的な手法の導入のため、令和7年産調査から「小豆、いんげん及びびらっかせい(乾燥子実)」の作付面積調査については収穫量調査と一体的に実施するとともに、これを踏まえ公表も同時期(翌年2月下旬)に変更することとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の見直し・改善</li> <li>業務マニュアル等の整備・充実・改善</li> <li>品質の表示</li> <li>変更管理の実施</li> <li>遅延調査票への対応</li> <li>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</li> <li>DXの実施、データのデジタル化</li> <li>システムの要件・仕様の可視化</li> <li>プロセス診断結果の取り込み</li> <li>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の変更申請</li> <li>調査計画の軽微変更</li> <li>業務マニュアルの整備・充実</li> <li>実施方法の見直し</li> <li>その他</li> </ul>	対応済
記入欄 No. 2	<p>【検討概要】</p> <p>【豆類、こんにゃくも】</p> <p>効率的な手法の導入及び調査結果の精度の維持・向上を図るため統計作成手法の総体的な改善に向けて検討する。</p> <p>【対応の概要】</p> <p>母集団情報・標本設計、効率的な作付面積の把握手法、調査範囲、その他の効率化(調査票の発送業務の一元化等)等について、令和9年産に向けて検討を行い、調査計画の所要の見直しを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の見直し・改善</li> <li>業務マニュアル等の整備・充実・改善</li> <li>品質の表示</li> <li>変更管理の実施</li> <li>遅延調査票への対応</li> <li>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</li> <li>DXの実施、データのデジタル化</li> <li>システムの要件・仕様の可視化</li> <li>プロセス診断結果の取り込み</li> <li>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の変更申請</li> <li>調査計画の軽微変更</li> <li>業務マニュアルの整備・充実</li> <li>実施方法の見直し</li> <li>その他</li> </ul>	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	<input type="radio"/> 達成精度	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照	別紙参照
	<input type="checkbox"/> 回収率・回答率					
	<input type="checkbox"/> 回収調査票数					
	<input type="checkbox"/> カバレッジ					
	<input type="checkbox"/> その他					
	<input type="radio"/> 設定なし(い収穫量調査、全作物の作付面積調査)					

目安としている指標の具体的推移

収穫量調査

農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（3%が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20%）を設定し、標本調査を設計。ただし、「い」は関係団体に対する全数調査。

		目標精度	目安としている設定時期	令和6年産調査	令和5年産調査	令和4年産調査	備考
小豆	実績精度・回答率	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（1～3%が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20%）を設定し、標本調査を設計。	令和3年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。	0.2% (実績精度)	84.6% (回答率)	89% (回答率)	令和4、5年産については、主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないことから算出を行っていない。
いんげん	実績精度・回答率	なお、令和4、5年産については、主産県調査であり、主要な都道府県において、標本経営体調査を行っていないことから、実績精度の算出は行っていない。関係団体への全数調査の回答率（実績）は右記のとおり。	なお、令和4、5年産については、目安とする指標は設定していない。	0.5% (実績精度)	76.9% (回答率)	83.3% (回答率)	令和4、5年産については、関係団体調査のみ実施していることから実績精度の算出は行っていない。
らっかせい	実績精度	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（1～3%が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20%）を設定し、標本調査を設計。	令和3年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。	3.7%	3.2%	3.1%	
こんにゃいも	実績精度	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（1～3%が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20%）を設定し、標本調査を設計。	令和3年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。	3.5%	2.9%	2.8%	
い	回答率	全数調査のため、目安とする指標は設定していないが、回答率（実績）は右記のとおり。	目安とする指標は設定していない。	100.0%	100.0%	100.0%	

作付面積調査

		目標精度	目安としている設定時期	令和6年産調査	令和5年産調査	令和4年産調査	備考
小豆	回答率	全数調査のため、目安とする指標は設定していないが、回答率（実績）は右記のとおり。	目安とする指標は設定していない。	92.0%	94.5%	95.6%	
いんげん	回答率			93.5%	100.0%	100.0%	
らっかせい	回答率			100.0%	100.0%	100.0%	
こんにゃくいも	回答率			96.3%	100.0%	100.0%	
い	回答率			100.0%	100.0%	100.0%	